

令和6年10月10日

## 横田基地における演習の実施等について

横田基地広報部より以下のとおり情報提供がありましたので、お知らせいたします。

### 【情報提供内容】

#### 1 演習の名称

ビバリー・モーニング 25-01

#### 2 実施期間

令和6年10月15日（火）～同年10月25日（金）  
（土日含む24時間体制）

#### 3 目的

- ・地域におけるロジスティクスと航空機運用の即応態勢の確認
- ・横田基地の全体的な即応態勢の確認

#### 4 内容等

##### ○航空機の運用について

- ・第374空輸航空団所属の航空機が参加する可能性がある。
- ・戦闘機を含む外来機及びCV-22の参加予定はない。  
（演習以外で飛来する場合がある）

##### ○PAS、GBS、バッシュキャノン及び煙幕等の使用について

- ・PAS：10月15日から10月25日まで、1日に数回使用するが、通常運用時間（0600-2200）外は使用しない。
- ・GBS：使用する予定はないが、もし使用する場合は、通常運用時間（0600-2200）外には使用しない。
- ・バッシュキャノン及び煙幕：使用する予定はない。

#### 5 その他

- ・10月21日（月）、22日（火）にいずれかのゲートで約60分間の計画的なゲート閉鎖がある。また、演習期間全体を通じて、断続的なゲート閉鎖の可能性がある。
- ・人員降下訓練を実施する予定はない。
- ・演習等の予定は、運用状況によって変更となる場合がある。
- ・演習終了の通報を行う予定。

## 6 北関東防衛局における対応

北関東防衛局から米軍に対し、当該演習の実施に当たっては、安全対策に万全を期すとともに、日米合同委員会合意を遵守し、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう配慮を申し入れた。

(参考)

- ・ P A S (Public Address System) : パブリック・アドレス・システム  
大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S (Ground Burst Simulator) : グラウンド・バースト・シミュレーター  
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- ・ バッシュキャノン (Bash Cannons) : 滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置

以上